

広島県

和牛の魅力を発信する試食体験イベントを開催

支援概要

■支援の経緯

今回支援を依頼した背景として、和牛＝「ひろしま」というイメージを国内外に対して印象付け、和牛ブランドを構築したいと考えている。そのためのブランド戦略について専門家の視点でアドバイスを頂きたいと考え、広島県内在住で、飲食分野に特化した地域ブランディング、地域資源活用、プロモーション・広報に通曉していたM氏に支援を要請した。

■専門家による具体的な支援内容

広島牛は千年以上前から日本三大牛市場のひとつとして栄えた土地として知られており、江戸時代後期には和牛の系統として確立され、和牛のオリンピックと言われる全国和牛能力共進会において2大会連続で日本一になるなど、広島県には和牛に関する歴史と伝統が多く存在している。そのようなストーリーを複数のプラットフォームで発信していくことにより広島牛の需要が増え、ブランドイメージが確立される点を助言した。また、地元の有名なフランス料理店の料理長と広島牛のイベントを行い、150名の飲食事業関係者が参加。広島和牛の歴史や栄養・機能等の特徴を説明し、来場者への試食体験も行い、広島和牛の魅力を発信した。

支援の効果

試食体験では来場者から「美味しい」という声が多く上がり大盛況だった。イベント終了後、大手食材卸会社から「肉の取扱いを10億円から30億円規模に伸ばしたい、広島和牛も積極的に取扱いたい」との申し出や大手焼肉チェーンからは「広島和牛を利用したい」との引き合いがあった。

広島テレビ局4局からの取材もあり、各局でニュース報道されPRにつながった。



専門家の声

イベントは大きな反響を呼び話題となった。その後広島和牛の取扱希望店が増加したとも聞いておりうれしい限りである。

しかし、「広島和牛ブランド創造」は短期間で結果が現れるものではないので、長期的な目線で粘り強く取り組んでいくことが必要となる。

事業者の声

イベントではM氏のご協力の下、高い関心の中で実施され、飲食事業関係者に対して広島和牛の認知を促すことができた。引き続き専門家の協力を得ながら、効果的なPRで広島和牛の周知に努めたい。今回の支援事業は専門家を簡略な手続きで利用できる制度で、非常にありがたかった。今後もこのような制度の創設を強く望みます。